

産業廃棄物処理計画書

令和 7 年 6 月 12 日

新潟市長様

提出者

住所 新潟市中央区文京町9番18号
アドラブル文京町氏名 株式会社 環境システム
代表取締役 佐藤 崇

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 025-378-3217

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

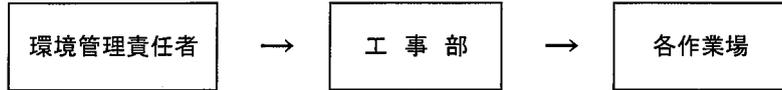
事業場の名称	株式会社 環境システム
事業場の所在地	新潟市中央区文京町9番18号 アドラブル文京町
計画期間	令和 7 年 4 月 1 日 から 令和 8 年 3 月 31 日 まで

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

① 事業の種類	総合工事業
② 事業の規模	元請完成工事高 3億6300万円
③ 従業員数	17名
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	コンクリート破片 中間処理業者へ委託 → 再生砕石として再資源化 アスファルト・コンクリート破片 中間処理業者へ委託 → 再生アスファルト合材として再資源化 廃プラスチック 中間処理業者へ委託 → 燃料チップとして再資源化 金属くず 中間処理業者へ委託 → 売却 木くず 中間処理業者へ委託 → 木材チップとして再資源化 紙くず 中間処理業者へ委託 → 燃料チップとして再資源化

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



(役割) 環境管理責任者： 廃棄物処理方針の策定、廃棄物管理規定の策定
産業廃棄物に関する各種事項の決定、承認

工 事 部： 廃棄物管理状況の把握と改善策の検討
処理業者の調査、選定及び管理

各作業場： 廃棄物処理計画の作成、委託契約の締結
産業廃棄物管理票の交付、管理
監督官庁への各種報告
関連会社に対する教育、啓発

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

【前年度 (6 年度) 実績】								
① 現状	産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリート破片	ガラス・コンクリートくず	廃プラスチック	紙くず	木くず	金属くず	
	排 出 量	1,370.90 t	6.00 t	11.45 t	1.29 t	3.30 t	6.44 t	t
	産業廃棄物の種類							
	排 出 量	t	t	t	t	t	t	t
(これまでに実施した取組)								
処分委託先で適正に処分されるよう分別を徹底しております。								
【目標】								
② 計画	産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリート破片	ガラス・コンクリートくず	廃プラスチック	紙くず	木くず	金属くず	
	排 出 量	1,200.00 t	5.50 t	10.00 t	1.00 t	2.50 t	5.00 t	t
	産業廃棄物の種類							
	排 出 量	t	t	t	t	t	t	t
(今後実施する予定の計画)								
受注量及び作業内容により排出量が変動するため、排出量を監視しながら適正に処分、再資源化するように努めて参ります。								

産業廃棄物の分別に関する事項

① 現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)							
	コンクリート破片と、アスファルト・コンクリート破片は必ず分別し、再資源化となるようにしております。							
② 計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)							
	今後とも分別できる廃棄物に関しては徹底して分別を行って参ります。							

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

【前年度（6年度）実績】									
① 現状	産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリート破片	ガラス・コンクリートくず	廃プラスチック	紙くず	木くず	金属くず		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
	産業廃棄物の種類								
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
(これまでに実施した取組)									
工事発注者による指定先及び指定先へ準ずる施設への処分のため、自ら行う再利用への取り組みは行っておりません。									
【目標】									
② 計画	産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリート破片	ガラス・コンクリートくず	廃プラスチック	紙くず	木くず	金属くず		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
	産業廃棄物の種類								
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
(今後実施する予定の計画)									
工事設計書を遵守し、今後も適正に処分を行って参ります。									

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

【前年度（6年度）実績】									
① 現状	産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリート破片	ガラス・コンクリートくず	廃プラスチック	紙くず	木くず	金属くず		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
	産業廃棄物の種類								
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
(これまでに実施した取組)									
工事発注者による指定先及び指定先へ準ずる施設への処分のため、自ら行う中間処理への取り組みは行っておりません。									
【目標】									
② 計画	産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリート破片	ガラス・コンクリートくず	廃プラスチック	紙くず	木くず	金属くず		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
	産業廃棄物の種類								
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
(今後実施する予定の計画)									
工事設計書を遵守し、今後も適正に処分を行って参ります。									

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

【前年度（6年度）実績】									
① 現状	産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリート破片	ガラス・コンクリートくず	廃プラスチック	紙くず	木くず	金属くず		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
② 計画	産業廃棄物の種類								
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
(これまでに実施した取組)									
工事発注者による指定先及び指定先へ準ずる施設への処分のため、自ら行う埋立処分又は海洋投入への取り組みは行っておりません。									
【目標】									
② 計画	産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリート破片	ガラス・コンクリートくず	廃プラスチック	紙くず	木くず	金属くず		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
② 計画	産業廃棄物の種類								
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
(今後実施する予定の計画)									
工事設計書を遵守し、今後も適正に処分を行って参ります。									

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度（6年度）実績】									
① 現状	産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリート破片	ガラス・コンクリートくず	廃プラスチック	紙くず	木くず	金属くず		
	全処理委託量	1,370.90 t	6.00 t	11.45 t	1.29 t	3.30 t	6.44 t	t	t
① 現状	優良認定処理業者への処理委託量	t	0.10 t	11.45 t	1.29 t	3.30 t	6.44 t	t	t
	再生利用業者への処理委託量	1,370.90 t	5.90 t	t	t	t	t	t	t
① 現状	認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
① 現状	産業廃棄物の種類								
	全処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
① 現状	優良認定処理業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
① 現状	認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
(これまでに実施した取組)									
すべての種類の廃棄物について分別を徹底しております。									

【目標】									
① 計画	産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリート破片	ガラス・コンクリートくず	廃プラスチック	紙くず	木くず	金属くず		
	全処理委託量	1,200.00 t	5.50 t	10.00 t	1.00 t	2.50 t	5.00 t	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	0.50 t	10.00 t	1.00 t	2.50 t	5.00 t	t	t
	再生利用業者への処理委託量	1,200.00 t	5.00 t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
	産業廃棄物の種類								
	全処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t	
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t	
(今後実施する予定の取組)									
今後も再資源化となるように分別を徹底して参ります。									
※事務処理欄									

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「一」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

産業廃棄物処理計画書（集計用シート）

提出者の名称	株式会社 環境システム 代表取締役 佐藤 崇	提出者の住所	新潟市中央区文京町9番18号 アドラブル文京町
事業場の名称	株式会社 環境システム	事業場の所在地	新潟市中央区文京町9番18号 アドラブル文京町
内容年度	年度		

（単位:トン）

廃棄物の種類	現状 ／ 計画	排出量 A	自社内での処理状況				委託先での処理状況				
			自己再生 利用量 B	うち熱 回収量 C	自己中間 処理 減量化量 D	自己最終 処分量 E	全処理 委託量 F	委託処理量のうち委託先毎の量			
								優良認定 処理業者 への処理 委託量 G	再生利用 業者への 処理 委託量 H	熱回収 認定業者 への処理 委託量 I	熱回収 認定業者 以外の熱 回収を行 う業者へ の処理 委託量 J
アスファルト・コンクリート破片	現状	1,370.90					1,370.90		1,370.90		
	計画	1,200.00					1,200.00		1,200.00		
ガラス・コンクリートくず	現状	6.00					6.00	0.10	5.90		
	計画	5.50					5.50	0.50	5.00		
廃プラスチック	現状	11.45					11.45	11.45			
	計画	10.00					10.00	10.00			
紙くず	現状	1.29					1.29	1.29			
	計画	1.00					1.00	1.00			
木くず	現状	3.30					3.30	3.30			
	計画	2.50					2.50	2.50			
金属くず	現状	6.44					6.44	6.44			
	計画	5.00					5.00	5.00			
	現状										
	計画										
	現状										
	計画										
	現状										
	計画										
	現状										
	計画										
	現状										
	計画										
	現状										
	計画										
合計	現状	1,399.38					1,399.38	22.58	1,376.80		
	計画	1,224.00					1,224.00	19.00	1,205.00		